県民環境キャンペーン
地球の守り人
減らそう!CO_2

ありがとう 命育む「水」

県民環境キャンペーン「地球の守り人」は本年度、「つなごう未来へ　にいがたの水」をテーマに展開してきました。紙面では、「水の現状」(6・7月)、「水の汚れ」(8・9月)、「水のちから」(10・11月)、「水の価値」(12・1月)、「水のあした」(2・3月)と題して、水資源の現状、汚水問題、水力発電、節水術などについて解説してきました。また、佐渡市立後山小、上越市立大和小、柏崎市立北鯖石小、新潟市立東山の下小、加茂市立加茂小で出前授業「モリビト学校」を実施。水と環境問題について理解を深めました。キャンペーンに協力してくださる読者の「モリビト協力隊」には、水力発電所の見学や節水チャレンジに取り組んでもらいました。一般読者から募集した「守り人教室」は3回開催。下水処理場見学、水の飲み比べセミナー、製紙工場見学と多彩な内容で、楽しみながら水についての知識を得ました。1年を通じて、新潟の豊かな水環境を守っていく意識を新たにした私たち。モリビト学校の児童たちとモリビト協力隊の2人から、授業や紙面に対する感想を寄せていただきました。

つなごう未来へ にいがたの水

1年を振り返って

守り人案内役
マモロウ

モリビト学校

生き物捕まえ水質調査

上越市立大和小学校

上越市環境情報センターの協力で、4年生が矢代川の水質調査を実施。トビケラやモクズガニなどが見つかり、水質は「まあまあきれい」と判定。合成洗剤などが多く流れ込むと生物が分解できず、川は汚れることを学んだ。

4年 中西 寧くん

出前授業の活動で楽しかったことは、たくさんの生き物をつかまえたことです。ぼくは、ヨシノボリとモクズガニをつかまえました。ヨシノボリはカジカの仲間だそうです。モクズガニは死んでいたので残念だったけど、このカニがいる川は まあまあきれいな川だと、川の専門家の木村さんから聞いて少しうれしかったです。

ぼくが大人になっても、ずっと、今のようにたくさんの生き物がいる、きれいな矢代川のままでいてほしいと思いました。

4年 金子 詩歩さん

出前授業では、矢代川の報告会をしました。私は、川にいる生き物について発表しました。きんちょうしたけど、大きな声ではっきり発表できました。

次に川に行って、つかまえた生き物を見て、川がきれいなのかどうか調べました。生き物を けんび鏡で見たら、小さな生き物が大きく見えておもしろかったです。矢代川は水がきれいないいところだと思いました。

次こそは、魚をつかまえてかいたいです。そしてもっともっと矢代川を好きになりたいです。

日本と世界の違い学ぶ

新潟市立東山の下小学校

国際協力機構(JICA)の佐藤奈都代さんを招き、4年生が途上国の水事情について学んだ。きれいな水を確保しにくいため病気になったり、2°以上歩いて重たい水を運んでいたりする実情を聞き、節水の意識を新たにした。

4年 原田 和駿くん

発展途上国の水の少ない国では、毎日2°以上も歩いて12キロの重い水を運び、さらに1日に何往復もしていることを知り、おどろきました。ガーナで病気にかかる子どもが多くて、日本とちがうと思いました。

佐藤奈都代さんの話を聞いて、ぼくたち日本人は、もっと学校や家で節水を心がけること が大事だと思いました。総合学習のエコエコ大作戦で、全校のみんなに呼びかけたいです。

4年 荒川 萌恵さん

佐藤さんから、水を1分間出すとペットボトル12本分の水になることや、日本では1日350リットル以上の水を使っていることを教えてもらいました。意外にたくさんの水を使っているんだなと思い驚きました。

私がもしガーナやバングラデシュの国に生まれていたらとても不便だと考えます。だから、水道の水をこまめに止めたり水で遊ばないようにしたりしたいと考えました。水くみから1日が始まる国もあるので、これから節水をきちんとやろうと思いました。

加茂湖の再生目指して

佐渡市立後山小学校

加茂湖水系再生研究所のメンバーらが講師となり、5・6年生とともに加茂湖で生き物観察をした。昔よりいいカキが採れなくなった加茂湖。生活排水が流れ込み「富栄養化」になったのが一因、ということを学んだ。

5年 川上 大晴くん

ぼくは、加茂湖に初めて行きました。どんなところか見てみたらすごく草がはえていました。聞いたら、去年はあまりはえていなかったといってたので、びっくりしました。その草の名前は、ヨシといいました。ヨシは海水に強いことから、よぶんな栄養をすいあげてくれると聞いて、おどろきました。

加茂湖にはいろいろな生き物がいてびっくりしました。だから、これからもきれいな加茂湖であってほしいです。

6年 河原 由莉さん

私が今日感じたことは、加茂湖にはたくさんの生き物がいるということです。カニやエビなどいろいろな生き物がいました。また、前に一度加茂湖に行ったときよりもヨシという草が増えていると感じました。

授業の最後に、ゴミ拾いもしました。ゴミは、ビニールや縄などが多く、拾うのはとても大変でつかれました。だから、これからはゴミを道路や海などに捨てず、良い環境にしたいと思いました。今よりもっと生き物が増えてほしいです。

水車発電で水の力実感

柏崎市立北鯖石小学校

講師を務めた新潟工科大の佐藤栄一准教授が空き缶で作った水車を使い、4年生が発電実験をした。水の流れる力を利用して発電させる仕組みを学び、水の勢いを強め水車の回転速度を上げると、より多くの電球がつくことを確認した。

4年 高橋 朱音さん

私は、発電に空き缶を使うなんて、エコになるからとってもいいと思いました。水車の「コイル」は手作業で導線を270回も巻いて作ったと聞いて、びっくりしました。

発電の実験では、LED電球を白い板にさして、水を流して水車を回しました。そうしたら、いろいろな色のLED電球がつきました。とってもきれいでした。水車で発電できることを初めて知りました。

それから、他にもいろいろな水力発電があることが分かりました。この勉強は、楽しくよく分かる勉強でした。

4年 須田 夏生くん

ぼくたちは、出前授業で、空き缶水車の発電実験をしました。最初は「電気がつくのかなあ」と思っていました。実験をしたら、水の速さが増すごとにLEDライトの光がすごく明るくなりました。光る色は白、赤、緑の3色でした。水車が回っているとき、水がたくさん飛び散りました。

最初に見たときは、「空き缶で水車をつくるなんて、すごいアイディアだな」と思いました。この実験をやった後、ぼくも、こんな発明がしてみたいな、とわくわくしました。

モリビト協力隊

きれいな川を次世代へ

早川 和雄さん(56)新潟市秋葉区

新潟にいて感じることは、つくづく河川に恵まれていることです。私の身近にも信濃川、阿賀野川があります。天からの恵みである雪や雨が川の水となります。私たちに命を与えてくれる水に感謝しています。

しかし時として、豪雪・豪雨となって私たちを苦しめますが。

水があるからこそ、新潟平野は豊かな実りで輝きます。私たちにできることは新潟の河川をきれいなまま、次世代に引き継ぐことです。新潟の美しさの源は水をおいて他にはありません。

人間にとって最も重要

大島 盛幸さん(44)新潟市中央区

2011地球の守り人は、「つなごう未来へ にいがたの水」をテーマにさまざまな視点から水の大切さ、節水の知恵などを読者に紹介してきた。

水はすべての生物の命の源であり、人間にとって最も重要な資源の一つである。また、水は地球の平均気温を維持するための気象条件緩和機能を果たしており、このことにより、地球の温度が生物の生息しやすい温度になっている。

私は守り人の紙面を読んで、さらに水資源を大切にしていこうと思った。

自然との共生考え直す

加茂市立加茂小学校

サケの生態に詳しい県内水面水産試験場の樋口正仁さんから、4年生がサケと人間の関わりなどについて聞いた。森・川・海そして生き物はつながっていて、「命の環」を大切にすることを学習。地産地消への理解も深めた。

4年 五十嵐 崇史くん

2月8日の出前授業では、「命の循環」があることを知りました。鮭が死んでも、他の生き物の栄養になり、鳥たちが森などでフンをすると森の土の栄養になります。それによって、川などの水質が良くなって鮭のすみやすい川になるそうです。これが「命の循環」だと樋口先生がおしゃっていました。

ぼくは、このことを知って、命を大事にすることを考え直すことができました。

4年 斎藤 楓華さん

樋口先生のお話から、「魚のすむ川」「緑がたくさんの森」そして「海の環」があって、魚がすみやすい川になることを知りました。

人間がコンクリートの川を作り、豊かな森の木をたくさん切ってしまったことで、魚が生きにくい川が増えています。魚と人間がうまくかかわっていないと自然がなくなってしまいます。

私が大きくなっても、今のように魚がたくさんいる加茂川にしていきたいです。

くまっ太

みどりちゃん

守り人に聞きたい 環境クイズ

この中で1人当たりのミネラルウオーター消費量が最も少ない国は? 5月20日必着

①アメリカ　②日本　③イタリア (2008年 日本ミネラルウォーター協会調べ)

答えと住所、氏名、電話番号、コメントを書いて、はがき、ファクス、ウェブサイトからご応募ください。
正解者の中から抽選で10人に守り人グッズをプレゼント!

「地球の守り人」とは

ふるさと新潟の環境について考える県民環境キャンペーン。豊かな新潟を守り、次代へつなげていくために、わたしたちは何をしなければならないのか。「身近なところから環境を考える」を合言葉に、読者とともに考え、行動していきます。

お問い合わせ・応募先 〒950-1189 新潟市西区善久772-2「地球の守り人」事務局
(新潟日報社企画事業部内)TEL.025-378-9360 FAX.025-378-9555
http://www.niigata-nippo.com/moribito/ 地球の守り人 検索
携帯からもアクセスできます

わたしたちは環境キャンペーン「地球の守り人」に協賛しています。

新潟県
株式会社アートグラフィック新潟
味の素株式会社
ALSOK 新潟綜合警備保障
板橋工業株式会社
FM PORT 79.0
王子製紙株式会社
株式会社オーシャンシステム
株式会社大橋商会
鹿島建設株式会社 北陸支店
環境をサポートする株式会社きらめき
株式会社クラシアン
ケーズデンキ 株式会社北越ケーズ
サカタインクス株式会社
株式会社サニーサニター
JR東日本 新潟支社
清水建設株式会社 新潟営業所
総合生協
株式会社第一印刷所
大王製紙株式会社
第四リース株式会社
ダイドードリンコ株式会社
高砂熱学工業株式会社
株式会社タカヨシ
中越運送グループ
月岡温泉 ホテル清風苑
DICグラフィックス株式会社
TeNY テレビ新潟
株式会社東京機械製作所
株式会社東芝 新潟支店
東洋インキ株式会社
株式会社ナンバ
新潟工科大学
新潟交通株式会社
新潟コミュニティFM10局
株式会社新潟市環境事業公社
新潟鉄道荷物株式会社
新潟トヨペット株式会社
公益社団法人 にいがた緑の百年物語緑化推進委員会
NIC新潟日報販売店グループ
日本カーソリューションズ株式会社 新潟支店
日本海洋石油資源開発株式会社 新潟鉱業所
日本新聞インキ株式会社
日本たばこ産業株式会社 新潟支店
は～とぴあ新潟日産モーター
パナソニック株式会社コンシューマーエレクトロニクスカンパニー 新潟電材営業所
有限会社 パレット
株式会社BSNアイネット
BSN 新潟放送
Pステーション 小国店
株式会社 福田組
富士運輸株式会社
富士通フロンテック株式会社
富士フイルムグラフィックシステムズ株式会社
弁天町共同ビル株式会社
新潟東急イン
北越紀州製紙株式会社
株式会社メイクスジャパン
ヤマナリ猪又産業
UX新潟テレビ21
リコージャパン株式会社
緑水工業株式会社
株式会社ワールドスイコー
(順不同)